

― 千歳文庫の浮世絵 ―

## 歌川国芳也

Kuniyoshi Utagawa&Toyokuni Utagawa

## 三代歌川豊国



源氏雲浮世画合 玉葛 一勇斎国芳作



本朝水滸伝豪傑八百人一個 大谷古猪之助 一重斋国芳作

江戸時代後期から幕末にかけて、 日本は飢饉や大地震の多発により、 混乱の中にありました。

しかし、浮世絵界は活況を呈していました。従来の役者絵・美人画に加え、北斎や広重が風景画という新分野を開拓しました。又、印刷術の向上により、挿絵を多用した庶民的な読み物を大量に流通させる体制が整い、挿絵やそれに関連した浮世絵の評判によって名声を得る絵師が現れました。

そのような絵師の中に、「武者絵の国芳(歌川国芳・1797~1861)」と、「役者絵の国貞(後の三代歌川豊国・1786~1864)」がいました。同門の 先輩三代豊国を目標として画法の研鑚に努めた国芳は、従来の枠を超えた発 想の浮世絵により、近年「奇想の絵師」として注目を集めています。

本展では、館蔵の浮世絵の中から歌川国芳と三代歌川豊国の作品を展示します。これらの作品により、混乱の幕末を明るく、力強く生き抜いた二人の 浮世絵師の気概を感じていただければと思います。



足利絹手染乃紫 十二月ノ内 弥生 豊国(三代)作



累(かさね)ゆうこん 裕念上人 田舎娘おりき 木下川与右衛門 豊国(三代)作

同時開催第2展示室

ー川喜田半泥子とその周辺―

次回展覧会 会期:9月28日(金)~11月25日(日)

備前焼人間国宝

金重陶陽と川喜田半泥子

ーその作品と交流-

展示替え休館

9月24日(月)~9月27日(木)





### 交通アクセス

- ●JR・近鉄津駅より三重交通バス(久居駅方面行)にて「青谷口」 下車徒歩8分
- ●JR 阿漕駅より徒歩 12分
- ●お車をご利用の方

【津市街から】国道23号線「大倉」交差点を県道776号線(久居方面)へ。 JRの踏切を越え、約200m 先岩田池手前の細い道(緑の看板あり)を 左折。約300m 先左側。(駐車場 15 台)

## 公益財団法人石水博物館

〒514-0821 三重県津市垂水3032番地18 【TEL】059-227-5677 【FAX】059-213-5789

http://www.sekisui-museum.or.jp/

# 企画展 —千歳文庫の浮世絵—**歌川国芳と三代歌川豊国** 平成24年7月20日(金)~9月23日(日)

出品目録

<u> </u>				
作品名	落款	版型		
1 浮世絵の中に描かれた動物				
1無題(子供風俗)	五渡亭国貞(三代豊国)画	大判三枚続		
2 両国涼船遊ノ図	香蝶楼豊国画	大判三枚続		
3 足利絹手染乃紫 十二月ノ内 弥生	豊国画	大判三枚続		
4 蛍見の夕涼	豊国画	大判三枚続		
5 浮世源氏漁遊覧乃図	七十九歳豊国筆	大判一枚		
6 准漢船遊び	一勇斎国芳画	大判三枚続		
7 両ごく大曲馬の賑ひ	一勇斎国芳画	大判三枚続		
8 亀喜妙々	一勇斎国芳戯画	大判三枚続 大判三枚続		
9 大日本六十余州之内 上総 白藤源太	· 京州国乃城国 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	大判一枚		
10 大日本六十余州之内 常陸 小栗判官代助重	<u> </u>	大判一枚		
11 大日本六十余州之内 安房 里見の姫君伏姫	<u>香蝶楼豊国画</u> 香蝶楼豊国画	大判 校 大判一枚		
12 大日本六十余州之内 因幡 白井権八	<b>香蝶楼豊国画</b>	大判 校 大判一枚		
13 大日本六十余州之内 近江 志水冠者義高	一勇斎国芳画 	大判一枚 大判一枚		
14 大日本六十余州之内 筑後 前伊予掾純友	一勇斎国芳画			
15 狂画水滸伝豪傑一百八人 十番続之内一	一勇斎国芳画	大判一枚		
16 狸のあみ打 狸のおふらい(往来)	一勇斎国芳戯画	大判一枚		
17 長崎勘ケ由左衛門	一勇斎国芳画	大判一枚		
18 本朝水滸伝豪傑八百人一個 大谷古猪之助		大判一枚		
19 源氏雲浮世画合 十九 薄雲	一勇斎国芳画	大判一枚		
20 源氏雲浮世画合 廿二 玉葛	一勇斎国芳画	大判一枚		
21 忠孝名誉奇人伝 兼女	朝桜楼国芳画	大判一枚		
22 山海愛度図会 二 早く見たい 平戸鯨	一勇斎国芳画	大判一枚		
23 山海愛度図会 七 ヲいたい 越中滑川大蛸	一勇斎国芳画	大判一枚		
2 化け猫、幽霊を描いた妖怪画				
24 日本駄右衛門猫之古事	一勇斎国芳画	大判三枚続		
25 浅倉当吾亡霊 織越大領政和 こし元重町	一勇斎国芳画	大判二枚続		
26 桜当吾霊 茶屋印馬実ハ当吾霊 織越大領	一勇斎国芳画	大判二枚続 大判二枚続		
20 口桂木 こし元桜木実当吾の霊	一多点当方凹	八十1—代初		
27 累(かさね)ゆうこん 祐念上人 田舎娘おりき	一陽斎豊国画	十业二十七条		
̄  木ト川与石衛門	一隊派豆国曲	大判三枚続		
植太屋土作宝八舟湖三亚 おきくの電	四文曲写玉			
28	一陽斎豊国画	大判二枚続		
29 写絵七化ノ内 とうふかひ 一本足ノお化	豊国画	大判一枚		
30 望月弾正 二代の尾上 岩藤の亡霊	豊国画	大判二枚続		
3 その他	<u> </u>	12 4 1 2 127120		
31 今様輝氏古寺之古図	一勇斎国芳画	大判三枚続		
32 阿都満源氏 見立五節句 文月	豊国画	大判三枚続		
33 いせおんど	国芳画	大判三枚続 大判三枚続		
34 時世花鳥風月 花	<u>  日月日</u>	大判三枚続		
35 浮世又平名画奇特	一勇斎国芳画	大判二枚続 大判二枚続		
36 似世紫田舎源氏 杉ばえ		大判一校机 大判一枚		
37 似世紫田舎源氏 二葉のうへ	香蝶楼国貞(三代豊国) 画	大判一枚		
38 似世紫田舎源氏 むらをぎ	香蝶楼国貞(三代豊国)画	大判一枚		
39 国芳模様 正札附現金男 寺西閑心		大判一枚		
39 国方候様 正代附現並労 寺四闲心		八十! 一		
40   <sup> </sup>	香蝶楼国貞(三代豊国)画	大判一枚		
- 「				
41「偐紫田舎源氏」二十四編上冊	柳亭種彦作・歌川国貞画	合巻		
42「足利絹手染紫」六編~七編	笠亭仙果作•豊国画	合巻		
43「朧月猫のさうし」一編~四編	山東京山作・一勇斎国芳画	合巻		
	日本小田15 万州日万国	TH.E.		

所蔵品展 川喜田半泥子とその周辺 2012-3期〈半泥子の仕事—道具と資料を中心に—〉 平成24年7月20日(金)~9月23日(日)

### 出展目録

		1	,
	作品名	作者	窯・形質など
	井戸手茶碗 銘「みぎわ」	川喜田半泥子作	千歳山窯
	灰釉茶碗 銘「園城寺」	川喜田半泥子作	広永窯
3	粉引手茶碗 銘「夕立」	川喜田半泥子作	千歳山窯
4	片身替茶碗 銘「寝物語」	川喜田半泥子作	千歳山窯
	黒茶碗 銘「三保の夜」	川喜田半泥子作	千歳山窯
6	赤楽大茶碗 銘「閑く恋慕」	川喜田半泥子作	広永窯
7	白掛茶碗 銘「天の川」	川喜田半泥子作	広永窯
8	刷毛目茶碗 銘「土用波」	川喜田半泥子作	広永窯
	高麗手茶碗 銘「雅茶子」	川喜田半泥子作	千歳山窯
	伊賀水指 銘「慾袋」	川喜田半泥子作	千歳山窯
11	浜木綿図	川喜田半泥子筆・自賛	
12	千歳山の蟇蛙図	川喜田半泥子筆・自賛	
	朝顔図	川喜田半泥子筆	
	百合図	川喜田半泥子筆·自賛	
15	焼締茶碗 銘「猿のしり」	川喜田半泥子作	千歳山窯
	黄瀬戸茶碗 銘「滑り川」	川喜田半泥子作	広永窯
	志野茶碗 銘「雨後の月」	川喜田半泥子作	広永窯
18	唐津手茶碗 銘「あひるの子」	川喜田半泥子作	
19	南瓜図	川喜田半泥子筆・自賛	
	焼物図	川喜田半泥子筆	
	春慶塗茶器	川喜田半泥子作	ろくろ心棒再利用
	呉須(コバルト)		半泥子使用
	『泥仏堂秘録』	川喜田半泥子筆	半泥子使用
	絵具·筆		半泥子使用
	印章		半泥子使用
	『茶盌箱の寸法』	川喜田半泥子筆	
	鼠志野茶碗 銘「一トめぐり」	川喜田半泥子作	広永窯
29	割高台茶碗 銘「浮寝鳥」	川喜田半泥子作	広永窯

### 2階山里茶席内

作品名	作者	窯・形質など		
30 鳥道無跡	川喜田半泥子筆			
31 竹一重切花入 銘「山法師」	川喜田半泥子作			
32 伊賀水指	川喜田半泥子作	千歳山窯		
33 平茶碗 銘「そのまま」	川喜田半泥子作	広永窯		

※13、17, 18は寄託作品。